



写真・市谷 健 「友だちって、いいね」

読む人の  
幸せを  
心に願って  
作る

# 喜びの タネまき 新聞 no.550

## お客様係に感謝

昨年の11月、ダスキンは創業50周年を迎えました。そのこともあり今年の春から各地域で45年以上の長い間、お客様一軒一軒にモップなどの商品を届けられているお客様係を表彰しています。

その中で表彰式を控え残念ながらご病気でお亡くなりになられたお客様係のご家族に表彰式に出席いただきました。「妻は余命半年と宣告されてからもダスキンの仕事を続け、お客様が待つ

ているから」と言って商品の交換に出かけていました。身体が大変なのにそこまでしなくても言っても「お客様が大切」と仕事をしています。妻が長きに亘り続けたダスキんに感謝します」とスピーチされた時は目頭が熱くなりました。

計り知れない心身の状況にありながらお客様のことを思い活動していただいた事に感謝の気持ちで一杯です。

ダスキンは商品やサービスをお届けしますが、それ以上に人と人とのふれあいを大切に今

日まで歩んできました。

時代はインターネットなどデジタル化により、人と人とのコミュニケーションの取り方も変わってきていますが、人の感情や気持ちは変わらないと思います。人が暮らす世の中であるからこそ、これからも優しい気持ちでお客様との対話を大切にし、お客様から「あなたが来てくれるから」と信頼されるダスキんであり続けたいと思います。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

猫好きと、犬好き。意見が分かれるようですが暮らして生き物の姿がある心が和みます。

### 「猫のいる日々」

犬のようにお手もしなければ、ボールを拾ってくることもない。気を利かせたりもしないのに、どうしてこれほど猫に心惹かれるのだろう。

子どもの頃はずっと犬を飼っていた。ポチやクロとよぶ普通の犬だったが、うちの犬は可愛いと思っていた。それがふとした出会いから猫好きになった。

20代半ば、「大家さんがいい人よ」という不動産屋の一言で、小さな庭のあるアパートに引っ越した。荷をほどき、くつろいでいると「ニャーン」と声がする。振り向くと草花の咲く庭に、ちよこんと座ってこつちを見ている猫がいた。白黒柄のちよこんと牛のような模様だ。

ある日、大家さんが「うちのゲンゴがご迷惑かけて…」と、なんだかすまなそうにいう。「大家さんちの猫なんだ。それもゲンゴって言うんだ」ほくほおじさんみたいな名前がおかしくて思わず吹き出しそうになった。

気が合ったのか、ゲンゴは毎日のように庭から挨拶した。昼寝を

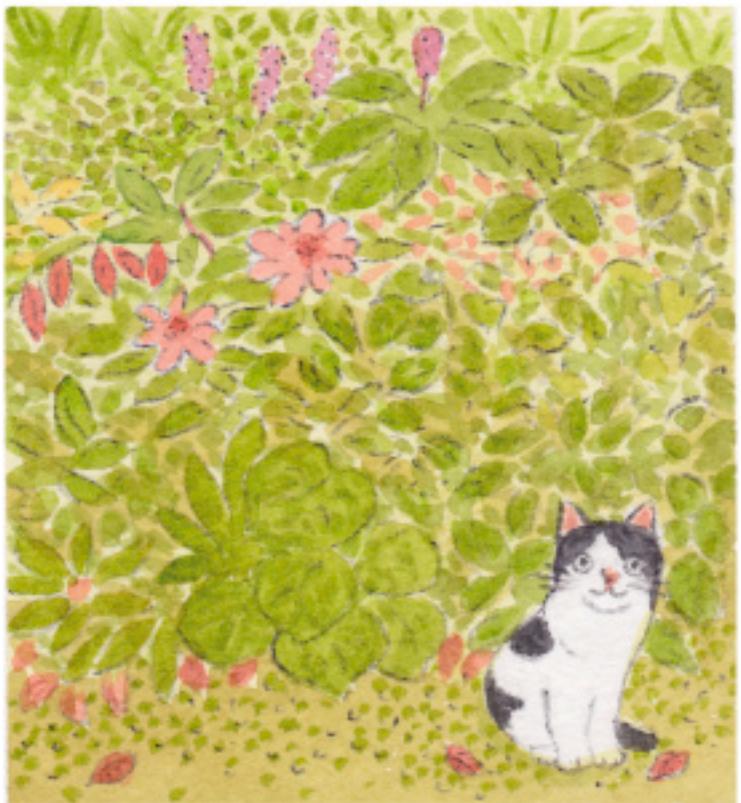
していると、いつのまにかほくの横で同じほうを向いて寝ていることもあった。外出先から戻ると大家さんの玄関から顔を出して待ち伏せしていることもあった。そう

かと思えば、庭先で声をかけても姿を見せないこともあった。そこは気ままな猫というべきか。知らん顔をしていると足元にきてスリスリしている。

もはや、すっかり猫好き。猫の絵もいつのまにか得意になっていく。周りを見ると絵描き仲間猫好きが多いことに気が付いた。仕

事柄、コッコツと描く作業。けつこう孤独な日が続く。それもあって団体行動が苦手、人見知りだが、仲間たちは打ち解けると人なつこい。何だか猫と似ている気もしてくる。

ある晩のこと、ゲンゴが庭ですつと鳴いていた。そういえば大家さんのご主人が入院して、家に誰もいなかったはず。部屋に上げると「ニャー」と甘え、そのまま小さく寝息を立て、お泊まりになった。「気ままでいいよ」そばにいるだけで気持ちが安らいだ。



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載の最多記録を更新中。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

### 寒くなったら、おしゃれにほっこり

## 「チーズポテトボール」

つぶしたジャガイモでチーズを包み、焼き上げました。まわりはカリッと、中はアツアツのチーズがとろろり溶けてバツグンの美味しさ！つけ合わせの野菜と共に、パーティーでも活躍する一品です。

お料理研究家 こいけりえ



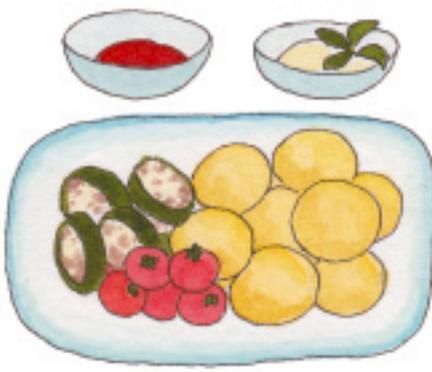
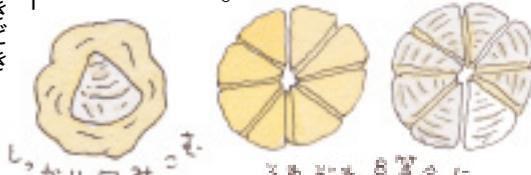
## おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



●作り方(8個分)  
●生地をつくる  
ジャガイモ2個は皮をむいて薄切りにする。耐熱皿に並べたら、水大さじ3を全体にふりかけてラップをし、電子レンジで約6分加熱する。やわらかくなったジャガイモは、熱いうちにマッシャーなどでしっかりと潰す。潰したジャガイモに片栗粉小さじ2、塩小さじ1を加えて混ぜ合わせる。  
ジャガイモの生地は予め8等分に分けておく。

●チーズを包む  
市販のカマンベールチーズも生地同様8等分に切る。  
分けた生地を小判型に伸ばし、チーズをのせたら丸めながらしっかりと包み込みボール状にする。

●揚げ焼きにする  
フライパンにボール半分が隠れるくらいの量のサラダ油を入れ、チーズボールを揚げ焼きにする。ときどき箸で回しながら、全体がキツネ色になるようカラッと焼き上げる。



できあがり♪

●ディップ作り(バジルマヨネーズ)  
マヨネーズ大さじ3にバジルペースト小さじ1と2分の1、粒マスタード小さじ2分の1、アンチョビ2〜3cm大、塩コショウを入れてよく混ぜ合わせる。仕上げにフレッシュバジルの葉6枚を細かく刻んで入れると香りが引き立ちます。  
お子様にはケチャップをおすすめします。

●野菜を添えて  
厚めに切ったズッキーニはオリーブオイルで軽く焼き目をつけ、塩コショウ、ガーリックパウダーをふりかけます。同様にオリーブオイルを使ってサッと炒めたブチトマトなど彩りのよい野菜を一緒に添えると見た目もグッと華やかです。

## みてもらおう！

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。

アチャコ!!  
埼玉県熊谷市  
四方田ゆり子



みんな風邪に  
気をつけて〜。  
広島市 栗村貞子



おねえちゃんと一緒に♪  
三重県津市 富田久美

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！  
(詳細は7ページ)

# 100歳まで

## 続けたい

孫や我が子連れ、大人も一緒に通う駄菓子屋さんがある。昔懐かしいというよりは、町を歩けばみんなが知りあいの働き者のおばあちゃんの魅力らしい。

北九州市は小倉に児玉商店をお訪ねしました。



児玉福美さんは27歳の時に駄菓子屋を始め、以来56年間お店に立ってきた。昔は塗り絵の題材だった駄菓子屋は、全国津々浦々、どこでも見たけれど、今は減って珍しくなった。「毎日たくさんの子ども達が来て、こんなに飽きなくて楽しい仕事はない」この町で育った子で、児玉さんのお世話にならなかつた



子はいないと言われるほどだが、店はとても小さい。

こぢんまりした2本の通路に、子どもの背丈に丁度の棚。入口で手渡される紙箱に好きな物を入れる。「ここはお菓子の種類が豊富で、自分で選ぶのが楽しいの」というお母さんは、

「ちょうど明日から引越すので、名残惜しくて」  
連れてきた2人の子は満面の笑み。「子ども達は上手に好きなものを選びます。一方が売れて他方が余るってことはないのが不思議」と児玉さん。次のお客さんは部活を終えた少年。即席麺を買った子に「ここで食べるの?」「うん」すぐお湯を注ぎ、ラムネの口も開ける。駄菓子のに、ブーメラン、ゲームやおもちもある。「ぼくも小さい頃に通いました」と娘を連れて車で来ていたお父さんは、「何色なの?」と聞いて黄色い笛のひもを娘の首にかけて。  
笛の横に腕に貼るシール。「男の子に人気。だけどお風呂に入るとは

「入らない」と頑張る子のために、お母さんがもう1つ買いに来たそう。



誰もが大人になって来ると、「このお店、小さかったんだねえ!」と言うので、児玉さんは「あんた達が大きくなったのよ」と答える。タコ焼き台も高く見えたという。

「タコ焼きをえびせんに挟んだタコせんは、流行って何十年の名物」と言って、うれしそうに笑う。「ここに来る子はみんないい子ばかりですよ」

病院に入院した16日間だけは骨休めと称して休んだが、先生も看護師もみな、この店の子だったから、皆が大切にしてくれた。



苦労がなかったわけではない。戦後、小倉炭坑にいたご主人が廃坑でやめた時から駄菓子屋を始め、仕入れは自分、経理はご主人。大きな団地が目の前にあったが、現在は解体中。近くの商店が次々と閉まる街の変化を見てきた。

でも苦労を苦労と思わない性分。「近くに小学校が3校あり、遠足の日は空になる」という。普段は「友達いるかな?」とふらつと寄る子ども達の社交場だ。素敵な人生のおばあちゃんは「100歳まで続けたい」と元気一杯だった。



あくび

千葉県市原市 内山備

うちの「ダイ君」は、茶色の少し大きめの中型犬。もう14歳で、口のまわりが白くなっています。首を少し傾けて私の顔を見ると、「アーア」と大あくび。私も呆れて「いつも人の顔を見るとアーアって!!」と怒っていました。

先日、「犬は人のマネをする」と、テレビでいっていたので、さっそくダイ君を観察。私の朝は犬の散歩に始まり、外まわりの清掃、餌やり、水やり、かめの水を取り替え、畑に行つて一段落。井戸水をゴクゴク飲み終えると、腰を伸ばして「アーア」とあくび。「ー」あら、ダイ君、私のしぐさをよく見ていたんですね。思わず口を押さえて、ダイ君を見てしまいました。朝晩、「ホラ、行くよ!」と散歩を促すダイ君が私の健康の源なのかもしれません。

——うん、なるほど!——



やさしい孫たち

群馬県桐生市 越村ヨシ子

最初の孫は、わが家に来ると私の布団にもぐり込み、昔話や童謡をせがんだものだ。その孫が大学を出て公務員になり、初給料で今は亡き夫と私に夫婦茶碗を贈ってくれた。最初の賞与では「好きなものを買って」とのし袋に入れたお金をくれたが、もったいなくて使えない。

2番目の孫は、去年アメリカに行ったお土産に暖かい帽子を買ってきてくれた。もう一人、上の娘の孫は、通学中の駅のホームで杖をつく人が多いのを見て、膝の痛む私に、「一番いい杖を買う足しにして」と全財産のお小遣い5千円を贈ってくれた。おかげで、2段切り換えの立派な杖をつけて、大助かりで散歩をしている。夜は、孫に買ってもらった携帯ポットを枕元に置いて水分補給。孫たちの優しい気持ちがありがたく、涙の出る思いです。本当にありがとう。

——いつも孫にかこまれているような安心感ですね。



先生

愛媛県新居浜市 近藤久美子

子供の頃、苦手な体育の授業はいつも憂鬱で、唯一好きだったのは、幼い頃から庭でぶら下がって遊んでいた鉄棒でした。

中学校の鉄棒の授業で、体育が不得意な私でも、一回転後ろ回りが出来ること気づいた先生は、皆の前でお手本になるよう、私を指名してくださいました。驚きと嬉しさで大緊張しましたが、無事に成功した瞬間、「わあ、すごい!」と言う皆の感嘆の声と達成感を今でも鮮明に覚えています。

人間誰しも必ず良い面を持っていて、欠点や短所さえ、捉え方によっては個性や持ち味になることもある。弱さや悩みがあるからこそ、人の痛みに共感でき、支え合い希望を持って生きてゆける。中学生の私に、そんな自信の芽となる種をまいてくださった先生への感謝の思いは、永遠に心の灯です。

——ありがとう。先生。



一人旅

静岡県沼津市 山中栄子

連休に沖繩に住んでいる中2の孫が、初の一人旅で静岡までやって来た。顔を見るまではドキドキでしたが、駅のホームに降り立った孫は、サッカーで日焼けし、体も引き締まり堂々としていた。そして私達の顔を見ると、安心したのか、笑顔を見せていた。

帰る2日ほど前から口数が少なくなり、いつもの帰りたくない病が始まった。彼はこの土地に住んで、父さんの行った学校に通いたいと言う。その言葉に涙が出るほど嬉しかった。帰りは体調が悪くなったため、母親と一緒に帰りましたが、新幹線で涙していた孫も、しばらくすると「涙で具合の悪いのが流された」と言ったそうです。孫から元気をもらった幸せな1週間でした。

——中2になってもかわいいですね。



お弁当

鹿児島県南さつま市 泊郁子

主人は3月末に定年退職しました。高校卒業から42年間、私と結婚してからも35年間の長いお勤め。大きな病気や、脚立から落ちて圧迫骨折という大けがもありました。この3月まで「どうぞ、無事に勤め上げてくれますように」と祈る日々でした。

「毎日、お弁当をありがとう!」そう言って主人は、なんと退職金の一部を「褒美」にくれました。私は小躍りして、大喜び!

それから3カ月。ゆつたりした生活に慣れた頃、主人は請われて再び勤めに出ました。また、お弁当づくりの始まりです。「現金をもらおうと元気が出る」という友人の言葉を思い出しながら、早起きを心がける毎日です。

——今日もお弁当を食べて、頑張りますか!



そっくり

北海道伊達市 佐藤ヨリエ

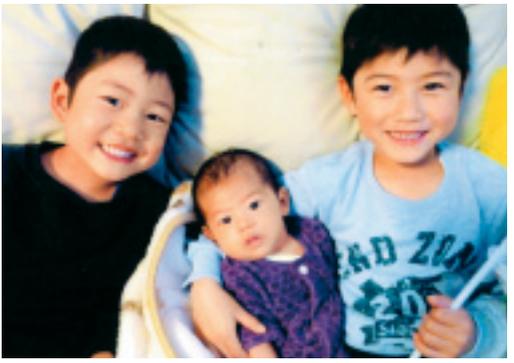
父が亡くなり、残された母はこれから寂しくなるわ!とポツリと言った。

その数か月後、警察官の娘婿から知らせがあった。無断放置されていたダンボールがあり、開けてみると小さなウサギが震えていたそうです。せっかく助かった命を無駄に出来ない、娘婿がいったんは引き取ったが、既にウサギを飼っていたためムリだとのこと。

しかしそのウサギの顔が亡きじいちゃんの顔にそっくりだと言うのです。不思議なこともあると思い母にその話をすると、「いや、ウサギは飼えないけど見てみたい」と好奇心いっぱい。今、じいちゃん似のウサギは母がすっかり面倒みています。母もウサギも幸せそうです。

——天からの贈り物かもしれませんね。

三兄弟になりました。大きく優しく自然に育て!



山梨県甲斐市 下原香織

お金以上に尊いもの

金持ちの生活が、うらやましい、と思ったなら、お金を残すように、ガンバル事だ。しかし、お金だけではしあわせではない。——と気づいたならば、おもいやりがあり、愛情の豊かな人間になって、本当の幸福をつかむ事だ。生きている限りは、自分にとって生きがいのある生き方をする事だ!

鈴木清一

愛の輪からのコラム “言葉” たち  
ふれあいから生まれた

研修生の心にはしっかりと愛の輪が育まれていました。

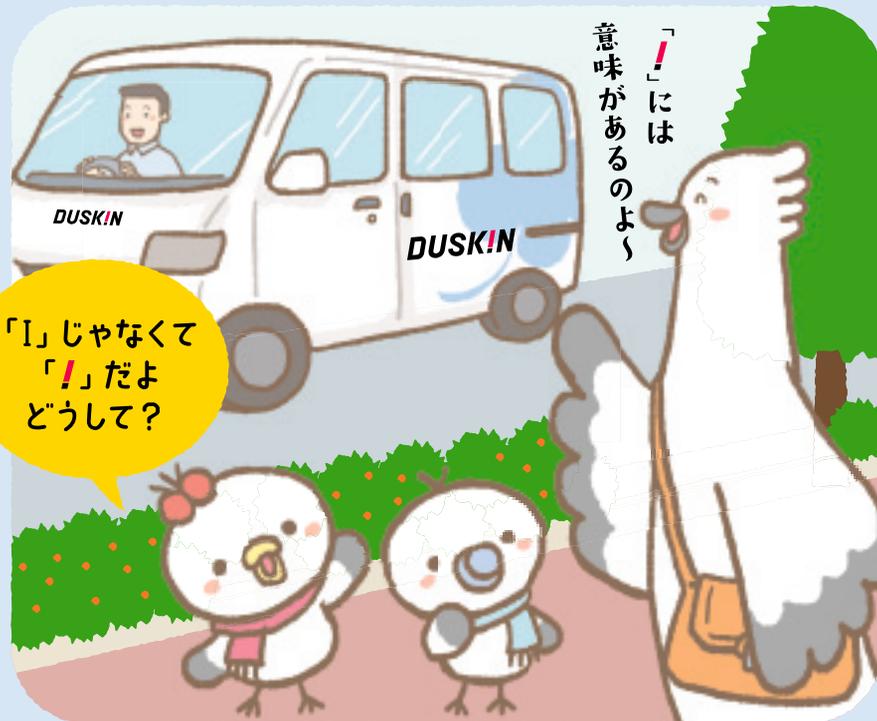
愛の輪・アジア研修生と日本の受入れ先を結びつけている那須里美さんには、今も心に残る出来事があるといいます。東日本大震災の時に愛の輪で学んだアジアの若者たちが、お世話になった日本のために、母国で追悼式典や募金活動をしてくれたこと。研修を終えた彼らの心に“愛の輪”がしっかりと育まれていることに、大きな喜びを感じられたそうです。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。  
☎ 06-6821-5270 HP <http://www.ainowa.jp/>

愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

ダスキンのロゴの「!」は感動を与えられる企業になるという想いがつまっています。

ダスキンのロゴをよく見ていただくと、「I」の部分が「!」になっています。これにはお客様に満足していただくことで「感動」を生み出したという想いが込められています。また情熱の赤でアクセントをつけて、「愛」と「人」を表しています。



「!」には意味があるのよ

「!」じゃなくて「!」だよ どうして?

創業当時は…

喜びのタネをまこう  
**ダスキ**

カタカナの社名ロゴと共に書かれている企業スローガン「喜びのタネをまこう」は現在も使われています。



ダスキんがあなたにお届けする便利でおトクな使える情報サイトです。

アクセスはコチラから  
dduet  
<https://dduet.duskin.jp/>



今号のキーワード

か ん ど う



ハガキに書いてご応募ください!

「ベリーキッチンセット」を  
**プレゼント!**



ダスキんとハローキティがコラボ!  
抽選で50名様に

- 油汚れ用洗剤 ベリーの香り ●クリームクレンザー ベリーの香り
- 台所用洗剤 ベリーの香り ●レンジまわりふきん パープル(1枚)
- ハローキティのエコスポンジ(2色セット)
- ハローキティの台所用スポンジ抗菌タイプ(2個)

下記の要領でご応募ください。

©1976, 2014 SANRIO CO., LTD.  
APPROVAL No. G550826

●ハガキに

- ①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名
  - ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキん店名
  - ⑨この新聞内で好きなコーナー
- をご記入の上、下記あて先までお送りください。

●応募専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。

〒163-0265 住所は不要です。

(株)ダスキん「喜びのタネまき新聞no.550」プレゼント係

- 締め切り 平成26年12月26日(金)当日消印有効
  - 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成27年1月中旬お届け予定)
  - 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703
- ※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。  
※ダスキん関係者の応募はご遠慮ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキんの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキん「喜びのタネまき新聞」プレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキ**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます場合もあります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキんコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキんコールセンター

**0120-100100** [www.duskin.co.jp](http://www.duskin.co.jp)